

団体名：農村輝きネット・とうえい

代表者：丸山 恭子

所在地：愛知県北設楽郡東栄町

#### 〔ポイント〕

昭和46年、町内3地区に「生活改善グループ」が誕生。翌47年、現在の組織の母体となる「東栄町生活改善グループ連絡協議会」(現：農村輝きネット・とうえい)が発足する。現在の会員数は23名。

東栄町から「東栄町交流促進センター『千代姫荘』」の管理者の指定を受け、同施設の管理運営を行うと同時に、地元農産物の加工、調理及び販売等を行う女性農業者の組織である。

#### 【活動内容】

1. 千代姫荘の体験交流活動において、都市在住者に農作業体験や農産加工体験を実施。千代姫荘(温泉)の物販コーナーで消費者の声を商品の開発・改良に反映。千代姫荘の食材等は、すべて地元産・手づくりを基本として町内産を利用。
2. 地元中学生の職場体験やボランティア体験を希望する生徒を積極的に受け入れ。また、千代姫荘の体験メニューは、学校関係団体や親子での伝統食材の調理体験として食育活動の重要な場となっている。
3. 廃食用油を町が実施しているBDF(バイオディーゼル燃料)の原料として拠出し、エコサイクル活動にも率先して取り組む。

#### 【活動の成果】

1. 千代姫荘の体験交流活動は、年々開発した体験メニューの蓄積で利用者が増加している。また、商品の開発・改良で新商品が数々誕生している。
2. 周辺農家や直売所参画農家の農産物作付種類と販売額が増加し、また、遊休農地の減少につながっている。
3. 若い会員への技の伝承や商品の生産・販売活動が意欲的に行われている。
4. 「地元食材と手づくり」の食材により、どの献立にも「東栄らしさ」が漂い、地域の伝統作物や伝統料理が活かされ、地域の素材を活かした料理メニューが開発され人気を呼んでいる。
5. 東栄町を訪れる人々は千代姫荘のグループ員との語りから得る情報をもとに、町内各地の観光スポットや農産物直売所を訪れており、千代姫荘はいまや地域間交流の一大拠点として機能している。